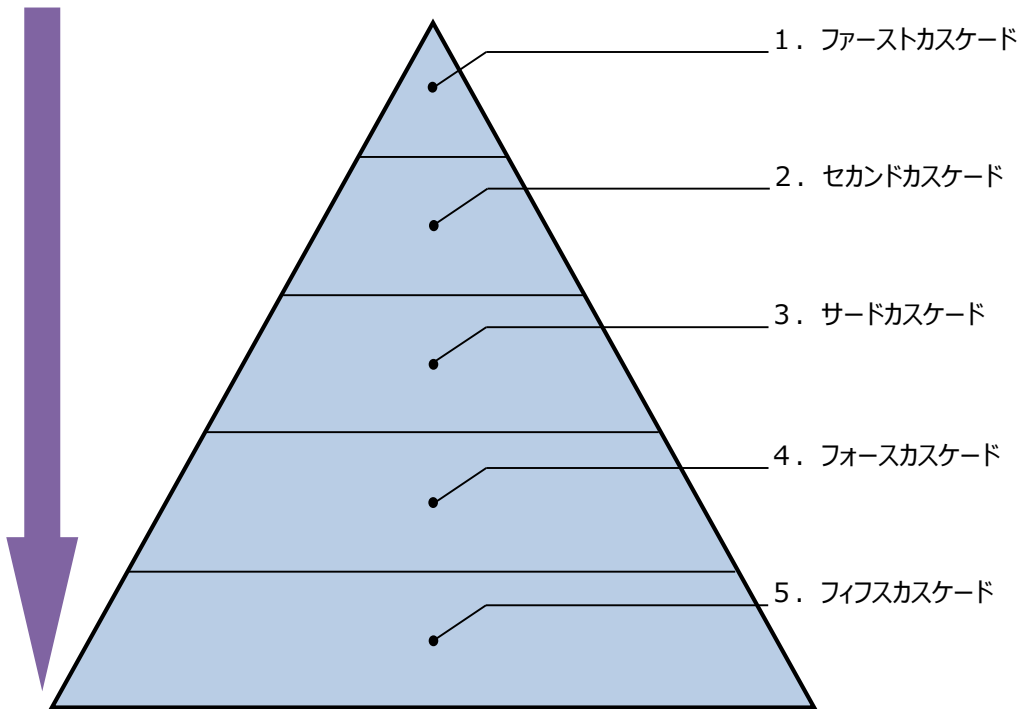


ビジョンカスケード概要

- ◆ 経営陣を起点として、ビジョンの具体的内容を段階的に下の階層に伝達する場を設ける。
- ◆ ビジョンの内容を各階層のメンバーが講師として下階層に伝えることで、聞き手だけでなく、伝え手自身のビジョンに対する理解と当事者感覚を深めることができる。
- ◆ ビジョンの背景に潜む暗黙知の共有と学習効果を高めるシステムとして有効。



イメージ例

経営陣（役員）で、ビジョンの内容に関して、自分がどう感じているか、どう表現することが適切なのかを議論し、すり合わせ・共有を図る。

経営陣が講師となり、部長クラスに対して1stカスケードでまとめたことを伝える。部長クラスは3rdカスケードに備え、質疑応答によりビジョンの理解を深める。

部長クラスが講師となり、課長クラスに対して2ndカスケードでまとめたことを伝える。課長クラスは4thカスケードに備え、質疑応答によりビジョンの理解を深める。

課長クラスが講師となり、係長クラスに対して3rdカスケードでまとめたことを伝える。監督クラスは5thカスケードに備え、質疑応答によりビジョンの理解を深める。

係長クラスが講師となり、一般社員に対して4thカスケードでまとめたことを伝える。一般社員は、ビジョンの現場徹底を図るため、質疑応答により理解を深める。